

5月は皐月（さつき）とも言います。由来は田植えの時期を表す早苗月（さなえつき）が早月（さつき）になり、転じて皐月になったと言われています。今年度は、感染対策をとりながら少しずつ行事ができるようになり、5歳児が田植えに行くことができました。苗を植えるだけでなく、いろいろな事を体で感じる事が出来たのではないかと思います。9月の稲刈りが楽しみです。

田植え（5歳児）

5月11日に千葉県鴨川市にある大山千枚田に田植えに行きました。バスの中では、前日に栄養士より、田植えに関する食育クイズをしてもらった事を思い出し、「田んぼにカモはいるかな」「どんな虫がいるかな」と、期待に胸を膨らませている様子が見られました。大山千枚田に到着し、田んぼを目の前にすると「入りたくない」「虫が嫌」と、言っている子もいましたが、勇気を出して泥の中に入ってみると「温かい」「気持ちいい」と、笑顔を見せ虫を捕まえたり、苗を植えたりしました。保育者が持つ苗の束に手を伸ばし「先生、早く苗ちょうだい」と、黙々と苗を植えていました。農家の方からは「植えるの上手だな。働きにおいで」と、言われ、田んぼに入る事をためらっていたとは思えないほどの上達ぶりでした。



体操教室（3歳児）

もり組（3歳児）から体操教室が始まり、毎回「体操の先生くるの?」「何するのかな」と楽しみにしている子どもたちです。講師が話を始めると興味を持って聞き、動きを真似しながらやってみようとする姿が見られます。熊や蛙、うさぎになりきり、マットの周りを元気良く進みながら、身体を動かす事を楽しみ、「できたよ」と嬉しそうに保育者に知らせていました。講師と子どもたちの間にマットを立てて力を合わせて押し合い、どちらが強いか競い合うゲームをしました。「負けないよね」「強いんだよ」と気合いを入れて押し合う子どもたち。勝つと、「やったね!」「先生に勝ったよ」と笑顔でハイタッチをしながら喜ぶ様子が見られました。次回の体操教室の活動内容を伝えると、「やりたい」「楽しみだな」と期待を持っていました。

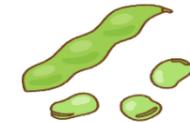


鍵盤ハーモニカ教室(4歳児)

月に2回、鍵盤ハーモニカ教室が始まり、初めての教室の日は待ちきれない表情を見せていました。鍵盤を押すと音が聞こえ「出た」と大喜び。夢中になって音を出していました。講師の話を書く事を忘れる事もある程、音を出す楽しさを感じる姿が見られています。どの鍵盤が「ド」なのか、どの指を使ったら弾きやすいのか、知る程難しいと感じたり戸惑ったりする事もあるかと思いますが、まずは楽しみながら鍵盤ハーモニカと触れ合えるようにしていきたいです。



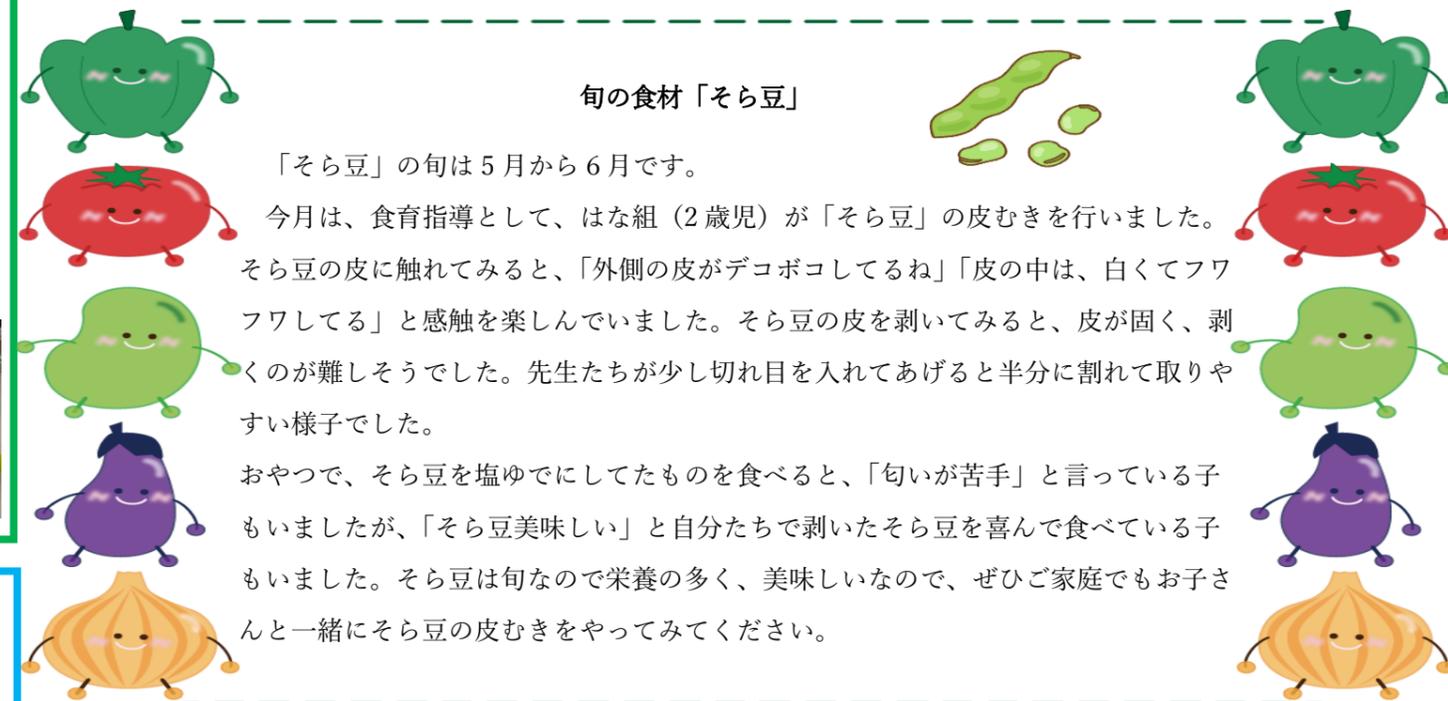
旬の食材「そら豆」



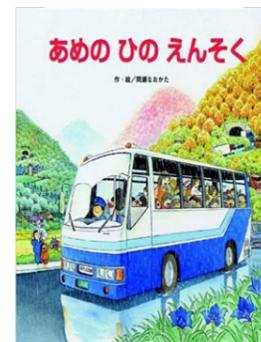
「そら豆」の旬は5月から6月です。

今回は、食育指導として、はな組（2歳児）が「そら豆」の皮むきを行いました。そら豆の皮に触れてみると、「外側の皮がデコボコしてるね」「皮の中は、白くてフワフワしてる」と感触を楽しんでいました。そら豆の皮を剥いてみると、皮が固く、剥くのが難しそうでした。先生たちが少し切れ目を入れてあげると半分に割れて取りやすい様子でした。

おやつで、そら豆を塩ゆでにしたものを食べると、「匂いが苦手」と言っている子もいましたが、「そら豆美味しい」と自分たちで剥いたそら豆を喜んで食べている子もいました。そら豆は旬なので栄養の多く、美味しいなので、ぜひご家庭でもお子さんと一緒にそら豆の皮むきをしてみてください。



絵本紹介



～あらすじ～

今日は待ちに待った遠足。しかし朝から雨。心配しながらもバスに乗って出発すると、だんだん景色が変わっていき、最後にあっと驚くしかけがある絵本です。

～おすすめポイント～

雨の遠足の沈んだ気分が一気に晴れやかになり、心があたたかくなるお話です。